

附 錄

本 縣 地 質

本縣ノ土壤ヲ構成スル岩石ハ火成岩、及水成岩ニシテ

- (1) 花崗岩地ハ各地ニ現出スレトモ各其占ムル所ノ廣袤甚々狹隘ニシテ敦賀郡ノ南部足田村地方及三方郡耳川ノ東西ニ於ケル地方ニアルヲ以テ其面積較大ニシテ多少農業ニ關係ヲ有スルモノトス其他敦賀及三方郡ノ兩郡ニ跨リ半島形ヲナス土地ヲ構造スル本岩地亦大ナレトモ地勢最モ山嶽ニ富ミ耕地ハ山腹傾斜ノ地ニ於テ散在スルノミ
- (2) 石英斑岩地ハ大野郡ノ各所及吉田、足羽ノ兩郡ニ跨リテ現出スレトモ其面積大ナラス其地勢亦峻嶮ニシテ耕耘ニ適スルノ地甚狹少ナリ
- (3) 火山岩地ハ三大區域ニ分レテ現出シ其廣袤甚々大ナリト雖モ現在ノ耕地ハ甚々狹少ナリトス本地質ニ係ル土壤ハ角閃安山岩或ハ輝石安山ノ分解シタル者ニシテ其表面ノ土壤ハ概シテ埴土ナリ
- (4) 片麻岩地ハ大野郡ノ各地ニ露出スレトモ其廣袤何レモ極メテ狹隘從テ耕地面積亦甚々狹少ナリ
- (5) 閃綠岩及蛇紋岩ハ敦賀及大飯郡ノ一局所ニ露出スレトモ主ニ峻嶮溪谷ノ地ニ屬シ土壤ヲ構成スル面積甚々狹隘ニシテ土性トノ關係薄ク且將來農業上大ニ望テ屬スヘキ地性ニアラス又石英斑岩ノ如キモ大野郡ノ各所ニ點々露出スレト雖モ土地險阻ニシテ稼穡ニ適スル土壤ヲ構成スル面積亦狹少ナリ
- (6) 古生紀岩地ハ本縣中最大區域ヲ占メ其北端ハ今立及丹生ノ兩郡ニ起リ南條郡ヲ貫キ南延シテ近江國及敦賀郡ニ入り同郡ノ中央ニアル花崗石ニ切斷セラレ再ヒ同郡及三方郡ノ境界ニ露出シ若狹國殆ト全部ヲ貫キ近江、丹波、及丹後ニ入ル又本縣ノ東北隅ニ於テ小面積ノ土地ヲ構成ス此ノ如ク最モ廣潤ナル土地ヲ占領スレトモ土地悉ク峻嶮ニシテ山嶽高峯或ハ丘陵傾斜ノ地ニ屬シ耕耘ニ適應スルノ地ハ實ニ狹少ナリ而シテ其地形ヲ見ルニ山腹傾斜ノ地或ハ溪流河岸ニ沿フテ星點スルニ過キサルナリ
- (7) 中生紀岩地ハ本縣中各地ニ露出スレトモ其廣袤概シテ大ナラス然レトモ獨リ大野郡ノ東西隅ニ現出シ越前美濃ノ國界ニアル山脈ヲ構造スルモノハ其面積較々廣潤ナリ而シテ本岩地ノ地勢ハ概シテ山陵峻嶮農耕地トシテ使用スル面積ハ甚々僅少ニシテ主ニ山腹傾斜ノ地ヲ耕耘シ平坦ナル土地ハ極メテ僅少殆ト之ヲ見サルナリ
- (8) 第三紀層ニ屬スル地ハ甚々廣潤ナル部分ヲ占領ス本紀ニ構造スル岩種ハ砂石凝灰岩等ニシテ加賀國江沼郡及坂井郡ノ境界ヲナス山陵ハ本紀ノ岩石ヨリ成リ福井平原及今立郡鯖江四隣ヲ圍繞スル山陵丘阜亦本地層ノ構造ニ係ル者ニシテ漸次南ニ向テ延長シ南條郡湯尾嶺ニ至テ止マル又丹生郡ノ海岸ニアル丘阜モ亦此地層ノ土地ナリ而シテ其地勢ハ

- 山嶽高嶺ニ乏シク概シテ丘陵ノ形狀ヲ有スレハ多少斜面ヲナセトモ其度緩慢ニシテ或ハ平坦低ノ如キモノナリ
- (9) 第四紀古層地ハ本縣中本地質ノ構造ニ係ルモノ數々所ニ散在露出スレトモ多クハ臺地ヲナシテ其區域甚々狹少ナリ然レトモ今立郡鯖江地方大野郡勝山町四近及同郡富田村地方ニ於テ或ハ原野ノ形狀ヲ現セトモ平坦ナル耕地ヲ構造シ且市街ニ接近シ運輸ニ便アレトモ農耕上重要ノ關係ヲ有スルモノナリ
- (10) 第四紀新層地ハ本縣内最重要ナル農耕地ニシテ其沖積地ヲ區別スレハ左ノ如シ
 - (イ) 足羽郡ノ平地ハ足羽川ノ氾濫ニ際シテ沖積シタルモノニシテ其土性ハ埴土ナリ
 - (ロ) 大野郡大野町四近ノ平地ハ眞名川沖積地ニシテ本地方ノ中央部ニ於テハ埴土ナレトモ漸次其周圍ニ至レハ石礫ヲ含有シテ礫質埴土トナル
 - (ハ) 大野郡勝山町四近ノ地ヨリ坂井郡鳴鹿村西部地方ニ至ル間ノ平地ハ九頭龍川沖積地ニシテ坂井郡ノ平地ハ悉ク九頭龍川、足羽川、日野川及其支流ノ働作ニ係ルモノナリ本地方ハ河川ノ平流區域ニ屬スレハ其漂積物亦細微ニシテ一般ニ埴土ナリ然レトモ本河流ノ沿岸ニ至レハ壓河水氾濫シテ細粒ノモノヲ淘汰スレハ其土性ハ壤土ナリ又海濱ニ累積セル砂阜ニ接近スル地方ハ屢々風波ノ働作ニヨリ土砂ヲ飛揚シ之ヲ土壤中ニ混漚スルヲ以テ坂井郡西部ノ地方ハ砂土ヲ含有スル事多クシテ自然其土性ハ變シテ壤土トナル
 - (ニ) 南條、今立及丹生ノ各郡ヲ貫通スル沖積地ハ日野川及其支流ノ働作ニ係ル者ニシテ其上流ニ於テハ流勢急ナルヲ以テ其構造セル土性ハ壤質埴土ナレトモ其下流ニ至レハ其水勢緩慢トナレハ隨テ其地方ノ表土ハ埴土トナリ下層ニ於テハ石礫ヲ混有ス
 - (ホ) 敦賀灣ニ瀕スル平地ハ河海ノ作用ニ依テ成リ海濱ニアリテハ海成沖積地ニシテ其土性ハ砂土ナレトモ漸次内地ニ入ルニ從ヒ窪ノ川沖積地トナリ其土性ハ礫質壤土ナレトモ其流末ニ於テハ石礫ヲ含有スルコト僅少ニシテ砂質トナル
 - (ヘ) 三方郡ノ海濱ニアル土地ハ海水ノ作用ニ依リテ成ルモノナレハ其土性ハ砂土ナリ又内地ニ於テハ河水ノ働作ニ依リテ沈積シタルモノナレハ其水勢ノ緩急ニヨリ其土性ハ埴土アリ礫質埴土或ハ壤土トナリ現出ス
 - (ト) 遠敷郡ノ海濱ニ亦海成沖積地アレトモ最モ農耕ニ關係アルハ北川、南川及其支流ノ沖積地ニシテ本地ニ全ク古生紀岩層ノ山嶽丘阜ニ圍マレタル一低地ナリ又北川、南川及其支流ハ共ニ古生紀岩地ヨリ發源シテ其經過スル

地方ノ地質亦同一ナレハ其浮流沈積シタル土壤ノ性質ハ殆ント同一ニシテ其大體ノ地味ヲ等フス然レトモ河流ノ緩急及平流域ノ長短ニヨリ其器械的組織ヲ異ニス即チ北川ノ谿流ニ於ケル沖積地ハ表土石礫ヲ含有スレハ其土性ハ礫質壤土ナリト雖モ日笠地方ヨリ下流ハ下流域ニ屬シ水勢緩ナルヲ以テ壤土トナリ又南川沖積地ハ稍粘質ニ富ミ之ニ適宜ノ砂粉ヲ夾雜スレハ壤質壤土ナリトス

(チ) 大阪郡佐分利川モ其水源及經過スル地方ノ岩層ハ南

北兩川ノモノト同一ニシテ古生紀岩地ナレハ其沖積物ノ性質亦相類似ス高濱地方ノ平地ハ海潮ニ關スル器械的操作用ニ依テ沈積シタルモノナレハ其性質大ニ前記ノ河水沖積土ト異ナリ其地方ノ山嶽及平原ノ地質ニ關係スルコト極メテ僅少ナリ

其他石灰岩層アリテ片麻岩、古生紀岩、中生紀岩、等ノ中各所ニ露出シテ大野郡、敦賀郡、三方郡等ニアル者ハ其面積極メテ大ナリ

大正六年一月三十一日印刷

大正六年二月五日發行

福井縣

石川縣金澤市殿町九番地

印刷者 宇野孝太郎

石川縣金澤市殿町九番地

印刷所 活文堂



